

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

October 2025

月刊情報誌  
No.142発行  
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会  
〒080-0351  
北海道河東郡喜望峯町字然別  
北5線西25番地2  
FAX 0155-40-7301

## 十勝は、秋

澄み切った空気が十勝平野に沁みとおってゆきます。日高の山々が輪郭をクッキリと抜けるような青空に映え、広々した耕地につながってゆきます。まだ紅葉が始まったばかりで、木々の色づきもパラついています。高温影響が紅葉前の枯葉や落ち葉も見られます。

収穫真っ盛り。茶色に代わった大地をトラクターやハーベスターがそこらじゅうで動き回り、収穫物を満載にしたダンプが道路を行きかいます。牧場のデントコーンも遅ればせながら刈り取り開始。茎にしっかり付いた実には、黄金色の固塾した粒がびっしり入っています。

牛たちの食欲も旺盛になってきました。暑さやハエの攻撃から一転、ゆったりと寝て食べています。間もなく町営牧場に放牧中のアンガスや短角牛も戻ってきます。どこまで大きくなったか楽しみです。



## 活動のお知らせ

- 10/22(水) HOBA北海道オーガニックビーフ振興協議会臨時総会 とかちプラザ  
HOAP一般社団法人 日本オーガニック畜産会合設立総会
- 10/23(木) 第12回北海道肉専用種枝肉共励会 北海道畜産公社 十勝工場  
第22回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2025「Future With Cows 牛とともに歩む未来～資源循環型生産の一事例から～」  
映画上映「World Without Cows ～牛なき世界」  
基調講演「エコフィードを活用した有機肉用牛生産に係る環境負荷の試算」  
講演者：農林水産省 研究統括官室 堤 道生 氏 ほか

## NEWSばか読み

- 熊本県 最大産地WCS用稲作付面積12%減 主食米増  
9/1：耕畜連携崩壊
- 25年産米概算金3万円中心 昨対5割高 調達過熱9/2：持続可能か
- 養豚協会 農相に飼料米の安定供給要請9/3：持続システムの構築
- 台湾 日本産食品の輸入規制を撤廃9/4：農産輸出に追い風
- コメ輸出量7月40ヶ月ぶりに源 原料確保できず9/5：国内需要拡大
- JA全農 競争入札放出分の備蓄米8月目標完売  
9/6：いろいろご苦労様
- 農水省 国境をまたぐ家畜伝染病で会議 水際対策9/9：鳥は飛ぶ
- 農水省 輸入小麦価格5期連続で下げ4%パンや麺に割安感  
9/11：食品値上げと逆
- ファミマ消費期限を2時間延長の21時間に 食品ロス削減9/11：
- 佐賀県農試 麦赤カビ病にペーパータオルで判定  
9/11：簡易なリスク判断
- コメ民間在庫26年6月に230万t予測 適正在庫上回る恐れ  
9/12：バランス予測
- 農水省 24年外国人の農地取得が175ha中国最多に  
9/17：規制できず
- Wmoオゾン層の回復を公表 フロン等の破壊物質99%減  
9/17：国際協調の成果
- 丸紅 スマホで瞬時に体重測定9/17：本当にいいね
- 韓国 鳥インフル発生 昨年より1か月早く9/18：警戒
- 農水省 食育推進基本計画の案 大人の食育重点9/18：子どもから
- JA全農10-12月 配合飼料3期連続で下げ550円/t9/20：まだまだ
- 十勝帯広で線状降水帯が発生 一部の地区冠水9/22：どこでも発生
- 8月和牛素牛相場昨対3割高に 離農で頭数減9/23：肥育農家危機
- 農研機構 高温が水稻の品質低下1等米が1割減 耐性品種推奨  
9/24：まってない
- 厚労省 10月からの最賃引き上げで作業効率補助金9/24：人減らし
- 農水省 飼料米やWCS利用の意向調査開始  
9/24：ブランドや耕畜連携崩壊の一角
- 農水省 シャインマスカットの海外生産許諾検討  
9/26：日本種の放出可能に
- 財務省データ 民間コメ輸入4割減9/27：ブーム
- 農水省 米英でも日本酒JAS有機の同等性確保9/27：拡大認知
- 農水省 岩手県の牧場 牛トレサ法で指導 耳標未装着で  
9/27：確認しないと
- 農福連携 農業現場に元受刑者やひきこもりも 徐々に拡大  
9/29：社会の輪

## 東京直近NEWS(10/29 Shi-REPORT)

## ホルス

市況相場は上場少なく上げ基調にて推移し、産地相対相場も上げ基調継続しており国産牛価格の底上げ状況。

頭数の慢性的不足から産地メーカーブレ値での取り合い、買付建値相場上昇中。

生産者も生産コスト上昇していることから強気な交渉継続。

販売面はやっと気温低下とともに、スライス品にシフト傾向も例年より遅れ。物価高から牛肉離れ顕著で切落しが唯一もそれすら地域によっては低迷。一部、上位部位ロインは不足感あるがモモ系もやや鈍化。10月以降の動きに期待したいところ。

荷動きは悪いが頭数は慢性的に不足し、相場水準は高値も部分肉の値上げは難航しそう。

## 経産牛

北海道内の出回り頭数の減少基調は継続課題。

北海道外(本州)の地域も減少傾向深刻で、道内市場への買参人は日々増加中しており生体輸送費コスト上昇でも、集荷課題クリアの意図から購買欲は強気変わらず。

直近相場はやや天井を打った様子も高値上昇が続いており、枝肉@1000突破もし始めている。販売面は高値基調からバラ系やや鈍く、赤身モモ、ロインもやや鈍化も余剰はなし。加工原料としての冷凍アイテムも不足しているが相場高騰から使用見直し状況でやや荷動き鈍く。挽材も一時的引き合いからは落ち着いており、こちらも高値からやや鈍化してきている印象。一部ではスポット的に挽き材案内の情報もある。

高値続きから原料・配合見直しの動きが多くこの先の情勢が読めなくなりつつある。

